

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和5年度			
施設名	金属鉱業研修技術センター(本館除く)	設置年	平成	2 年
所在地	秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館9-3			
指定管理者	小坂まちづくり株式会社			
県所管課	クリーンエネルギー産業振興 課	金属リサイクル チーム		

1 施設の概要

設置目的	金属鉱業その他これに関連する産業に関する知識及び技術の普及指導及び研修を行い、本県の金属鉱業等の振興を図る。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 環境・リサイクル産業の振興を図る。					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための 取組として施設に求められているもの					
	・金属資源等のリサイクルの促進に向けた研究 ・使用済み太陽光パネルのリサイクル拠点の形成					
施設の面積	①宿泊棟:延べ床面積 1,955.17㎡ ②ゲストハウス:延べ床面積 352.927㎡ ③レストラン:延べ床面積 259.42㎡ ④渡り廊下:延べ床面積 253.4㎡					
主な設置施設	宿泊棟1棟、レストラン1棟、ゲストハウス1棟、渡り廊下 など					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制）				
	料金設定	宿泊料金に関しては別紙。				
	サウンディング実施対象施設※	○				
	指定期間	R3. 4. 1		～	R8. 3. 31	
	営業期間・時間	宿泊棟:年末年始以外営業 レストラン:6時30分～9時 11時30分～14時 17時～20時 ※定休日:火曜日				
	(1)使用の許可、使用許可の取り消し、並びに使用の制限及び停止に関する業務 (2)施設及び設備の維持管理に関する業務 (3)金属鉱業その他これに関連する産業に関する情報の提供に関する業務					
自主事業の内容	・地域の宿泊施設・飲食施設に合わせた料金水準の設定 ・レストランの宴会等利用にかかる、地域企業を対象としたセールス活動の展開 ・レストラン青銅館による、二食付宿泊プランの提供 ・地元食材を使った料理の提供と、黒鉱をテーマにした地域性・話題性のある商品の開発					
直近3年の年間利用者数	R3	16,244 人	R4	24,075 人	R5	25,449 人
直近3年の年間利用収入	R3	48,308 千円	R4	76,240 千円	R5	91,948 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R元	R2	R3	R4	R5
収入 計		0	0	61,784	89,998	104,565
利用収入				48,308	76,240	91,948
指定管理料				6,966	6,966	6,966
その他収入				6,510	6,792	5,651
支出 計		0	0	61,974	91,019	105,566
人件費				33,271	48,619	56,092
光熱水費				11,529	14,787	15,121
修繕費				952	1,120	1,918
外部委託費				775	863	856
その他経費				15,447	25,630	31,579
差 引		0	0	▲ 190	▲ 1,021	▲ 1,001

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和5年度の目標	利用収入 84,590千円
----------	---------------

○指定管理者による実績報告

令和5年度の実績	実績	91,948	達成率	108.4%	
	具体的な取組とその効果	・令和5年度は、鉱業関連の研修生受け入れを軸としながら、秋田県の環境産業観光拠点として、一般客の受け入れも行なった。 ・個人客に関しては、電話・Web販売を中心に、周辺地域の工事関係者の拠点として役立った。そして自社観光施設である「康楽館・小坂鉱山事務所・小坂ワイナリー」など地域施設を活用した取り組みを実施した。			
直近3年の実績	年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標		64,157	60,105	
	実績		58,550	76,240	
	達成率	#DIV/0!	91.3%	126.8%	
令和6年度の目標 (設定根拠)	目標	利用収入94,700千円			
	設定根拠	令和6年度は、鉱業関連の受け入れに加え、修学旅行やスポーツ合宿団体を対象とした宿泊の強化を図るとともに、一般客においては、先行のシーズナリティーや繁閑をしっかりと見極め、適正な価格設定に努める。 Web一般予約を中心に、「付加価値」を持つ宿泊プランを展開し、お客様の満足度を深めながら企業としての利益を生み出せる体質を作る。 以上の施策をより、令和6年度の利用収入は、令和5年度比3%増を目標値として設定するものである。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点 I> の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	令和5年度は、新型コロナウイルスの完全終息に伴い、鉱山関連研修生・工事関係者出張・一般観光客ともに増加し、目標を達成する事ができた。
	県(所管課)	A	令和5年度は、利用収入が増加していることから、目標達成した。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。
A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)
B: A及びC以外
C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和5年度 の実績	実績	93.3%		
	具体的な 取組と その効果	従業員に対して「サービスマニュアル、マナーの継続教育」を実施し、お客様の様々なニーズにお応えできるよう努力した。結果、じゃらんネットのサービス評価は、目標4.5に対して4.2と高評価を頂いている。また、永続的な運営を維持するためにも、近隣からの新たな雇用を積極的に推進、人材の育成と確保に努めた。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R2年度		R3年度	R4年度
	-		90.0%	90.0%

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	・令和5年度は、国内オンライントラベルエージェントの「じゃらんネット」サービス評価点4.5ポイントを目指し、進めてきたが、フロントスタッフによる「心のこもった家族のようなサービス」が評価につながり、4.2ポイントという結果となった。対目標93.3%となったため自己評価はAとする。
	県 (所管課)	A	宿泊予約サイトの利用者の評価が高いことから、満足度は高水準を維持しているものと評価できる。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: 満足度80%以上 B: A及びC以外 C: 満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	経費の 低減実績	・電力デマンド監視システムにより節電の取組んだ結果、電気料金が令和4年度比で1.6%減少した。 ・人件費については、単価増及び夜勤対応職員を1名増員したことにより、15.4%増加した。 ・総額の経費については、令和4年度比で16.0%増加した。
	具体的な 取組と その効果	・電力デマンド監視システムによる電気使用量の可視化によりピーク使用量の管理徹底を行い、基本料金を削減した。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	収入の 増加実績	利用収入は、令和4年度比で20.6%増加した。
	具体的な 取組と その効果	・一般客からの利用料を増加させるべく、宿泊予約サイト総合管理システム(サイトコントローラー)を最大限活用した客室在庫提供を実施した。 ・繁忙日・閑散日の価格設定を工夫し、取りこぼしのないよう努力を重ねた結果、客室平均単価(ADR)が前年度比で800円増加した。

＜観点Ⅲ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	・利用収入については20.6%増加した。 ・経費においては16.0%増加したが、電気料金・燃料費の高騰を考慮し、節電対策など積極的に行ったことから評価はAとした。
	県 (所管課)	B	・経費の低減については、節電対策を実施して電気料金は減少はしたが、物価高騰や人件費の増加の影響で、5%以上の改善とはならなかった。 ・ただし、収入の増加については、前年比で5%以上改善を達成していることから、総合でB評価とする。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	<p>○施設維持管理業務 日常の施設管理・巡視点検業務に加えて、芝管理・清掃業務や除雪業務等については、適宜実施し、施設の維持管理業務を適切に行った。</p> <p>○人員配置 施設の管理運営に必要な人員を配置しており、受付担当者が不在にならないなどで利用者に支障は生じていない。</p> <p>○職員の資質向上 フロント・レストランの作業マニュアルの熟成、ホテルマンとしてしマインド・マナー研修の実施など、従業員教育による育成継続を図った。</p> <p>○地域や関係団体等との連携 秋田県金属鋳業研修技術センターの関係機関との定期的な連絡会議に参加し、情報共有と連携により協力体制の強化に努めた。</p> <p>○安全対策 食品検査や検便等の法定検査を実施し、賠償責任保険の継続加入をしている。 また、消防署員指導による火災避難訓練を実施した。</p> <p>○個人情報の取り扱い 個人情報保護法に基づき、宿泊者名簿（レジカード）の管理と保管については、法令に則って管理・保管した。</p>
--------------	---

＜観点Ⅳ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	A	施設の安定的な運営に加えて、委託している施設維持管理業務（施設管理・巡視点検業務、芝管理・清掃業務、除雪業務等）についても、適切に行われている。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

- ・ 鉱業振興に係る技術開発や研修・交流事業の実施、環境リサイクル産業の普及啓発を行うこととする県の施策に沿って、研修の受け入れ機能を担っている。
- ・ 指定管理業務が適切に行われていることにより、本施設の機能が維持されている。

○施設運営の課題

- ・ 老朽化した施設及び各種設備を、更新及び修繕する必要がある。

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

- ・ 施設の機能を維持するため、老朽化した施設及び各種設備の修繕を計画的に実施していく。